

臨床研究に関する公開情報

平成 30 年 2 月 13 日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「救急外来を受診した肺炎患者の入院死亡に、初期研修医による初期対応は関連する要因であるか、を探索する過去起点コホート研究」

研究期間：2016年12月1日から2017年11月31日までを予定しています。

対象：2016年12月1日から2017年11月31日までの期間で兵庫県立尼崎総合医療センターの救急外来受診患者において、入院となり、DPC(Diagnosis Procedure Combination)が肺炎であった患者

研究目的：肺炎患者の入院死亡に関して、初期対応医は関連する要因であるか、を探索する。本研究の結果により、初期研修医による初期対応は、肺炎患者の臨床的予後因子となりうるかを予測できる。予後因子に挙げることができれば、肺炎患者への対応に関して、初期研修医の指導方法の改善など、対策を練ることができ、患者の予後改善につなげることができる。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、DPC病名、来院時トリアージ、入院時ADROP、来院方法、退院転帰、初療対応医、入院病棟、入院時血液検査データ、併存疾患、栄養内容、があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：

研究責任者： 近藤悠生（研究の総括）

兵庫県立尼崎総合医療センター 初期研修医

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77 TEL： 06-6480-7000

FAX： 06-6480-7001

E-mail:yuki_kondo666@yahoo.co.jp